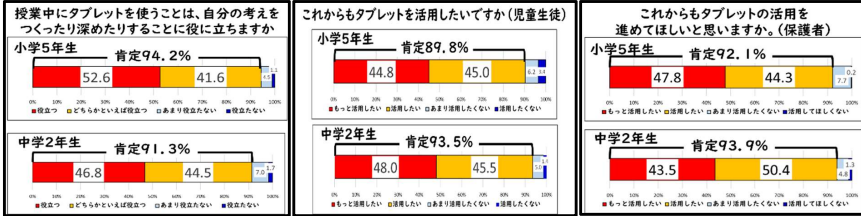




令和4年度小郡市ICT教育推進について

小郡市では、市ICT教育推進員会で共通理解したロードマップを基に、一人一台タブレット端末の授業や持ち帰りによる活用を進めてまいりました。昨年度末にICT教育に関する取組評価アンケートを行い、令和3年度の成果と課題を明確にするとともに、令和4年度小郡市ICT教育推進ロードマップを作成しました。



評価結果を見ると、「授業中にタブレットを使うことは、自分の考えをつくったり深めたりすることに役に立つ」という項目で小5、中2ともに肯定的な回答が90%を超えています。また、「これからもタブレットを活用したい(活用を進めてほしい)」という項目では、児童生徒、保護者それぞれに肯定的な回答が約9割以上という高い割合となっています。このように令和3年度の成果として、「子ども達が意欲的にタブレットを使い慣れようとしていること」「保護者の方にICT教育推進への理解と共感をいただいていること」があげられます。一方、学校間・学級間・教科間で活用状況に『差』があることがこれから解決すべき課題です。

令和4年度は、ICT教育推進のねらいを「正しく効果的に使いこなす」とし、これまでの教科等の指導とICT活用のベストミックスを目指して、計画的に進めていきたいと思います。

項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ねらい	正しく効果的に使いこなす											
ねらい	正しく使いこなす 効果的に使いこなす 振り返る											
教職員研修・推進体制	ICT教育の目的・取組指標の共通理解 ★授業における端末の効果的な活用の推進(授業支援アプリ、思考ツール、デジタル教科書・メキビット等) 情報モラル指導 実態把握 情報モラル指導 成果と課題の評価 複数体制による推進組織 校務ICT化の推進 行事等ICT導入による効果的・効率的実施 取組状況評価											
持ち帰りによる主体的な活用	通信状況確認 持ち帰りによる家庭学習(メキビット・ドリル他) 夏季休業 持ち帰り 活用状況アンケート(児・生・保) 年度末更新作業											
タイピング力の向上	学年の目標設定(タイピング) 自己目標設定 日常的スキルアップの取組 夏季休業練習 日常的スキルアップの取組 夏季休業練習 タイピング力 振り返り											
情報モラル教育の推進	児童生徒 始業式、学級活動等で「正しい使い方」の確認 保護者とともに学ぶ場の設定 タブレット履歴確認及び指導 児童会・生徒会活動等による主体的なルールづくり等の推進 タブレット履歴確認及び指導 保護者 PTA総会、保護者会・学習参観 学校通信等での啓発 ◎年間計画に基づく授業公開 ◎学校通信・HP等での情報発信 地域 学校運営協議会等での説明・啓発 ★児童生徒の活用の様子・活用の成果・課題について啓発											
市推進校の取組	本年度のねらい・見直し 授業公開(小・中)① ★市教育研究所 授業公開(小・中)② 推進校の取組を次年度の教育計画に反映											
小郡市教育委員会今後の環境整備支援の見直し	ICT 通信環境 整備計画 年度末更新作業 タブレット 履歴確認 分析考察 策定 タブレット 履歴確認 分析考察 策定											
ICT推進委員会	年間計画の策定 授業観察 カリキュラム検討① 授業観察 カリキュラム検討② 取組状況評価											

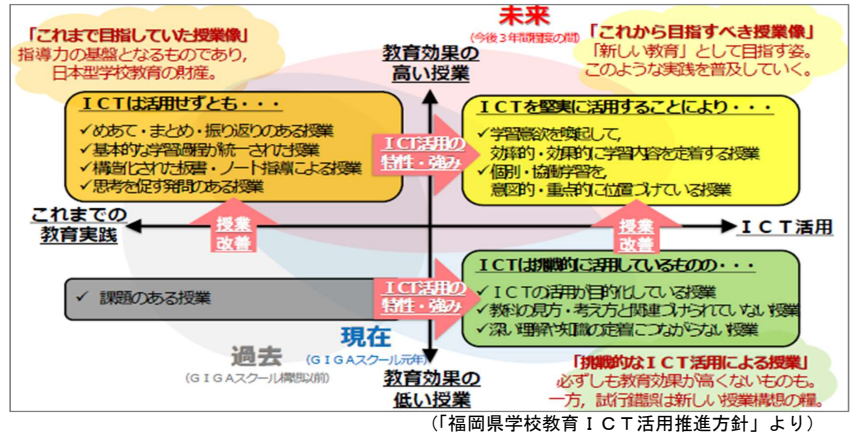
「小郡市ICT教育推進ロードマップ」(令和4年度版)

小・中学校版 福岡県学校教育ICT活用推進方針が策定されました

<福岡県が考える「新しい教育」の姿>

- 新学習指導要領が掲げる資質・能力を育成することを目的とし、ICT活用を授業改善に向けた「有効な手段の一つ」とする教育
- これまでの教育実践とICT活用とを適切に組み合わせて、効果的・効率的に学校教育活動を展開

<これまでの教育実践とICT活用を適切に組み合わせた「新しい教育」のイメージ>



人権課題に係るICT教育推進の考え方について

小郡市立小中学校の全保護者向けに、「安心できるタブレット端末活用のためのリーフレット」を配布します。昨年度見えてきた課題を踏まえ再構成しました。「家庭での子どもの使用状況の把握」「あたたかい言葉と想像力」「立ち止まって考える力と判断力」「顔を見て伝える大切さ」の4点から記述しています。また、今年度の人権啓発冊子「差別をなくすために」は、「つながる～インターネットと人権～」をテーマに作成しています。4月に全戸配布し、先生方にもお配りします。それぞれの資料をぜひ情報モラル育成のための啓発や研修、授業などにご活用ください。

子どもたちの「未来に向かい 未来を拓く力」の育成に向けて

小郡市学校教育は、子どもたちの「未来に向かい 未来を拓く力」(「未来に向かう『心』・「生きて働く『知』」・「健康で逞しい『体』」)の育成をめざしています。世界の状況はますます混迷を深めていくことが予想される中、これからは一人一人が解決困難な課題に直面しても自分なりの最善解を求めて考えをつくり出していくことのできる「真の学力」を着実に育んでいくことが重要です。そのためには、これまでに私たちが大切にしてきた授業改善の視点を基盤に、ICT活用の特性・強みを学びに適切に生かしていくことが求められます。ICT活用の機会の格差が子どもたちの学力格差につながることはないよう、活用上の課題を確かめることがまずは必要です。本年度も市ICT教育推進委員会での協議及び市ICT教育推進モデル校(味坂小・大原中)の取組を核としながら市内全体ですべての子どもたちのICTを正しく使う「心」と効果的に使う「力」を育てていきたいと思います。